

# はなわ 議会だより

2019  
No.146

発行/福島県塙町議会  
平成31年4月19日



先生との思い出を振り返って  
笹原小離任式

## 3月定例会

新年度当初予算審議 …………… P 2～6  
町政を問う(一般質問) …………… P 10～19  
開かれた議会へ(議員と語ろう)… P 22～23



塙町議会ホームページ  
QR



塙町議会フェイスブック  
QR



塙町議会ツイッター  
QR



# 平成31年度 一般会計予算総額 61億3,780万円

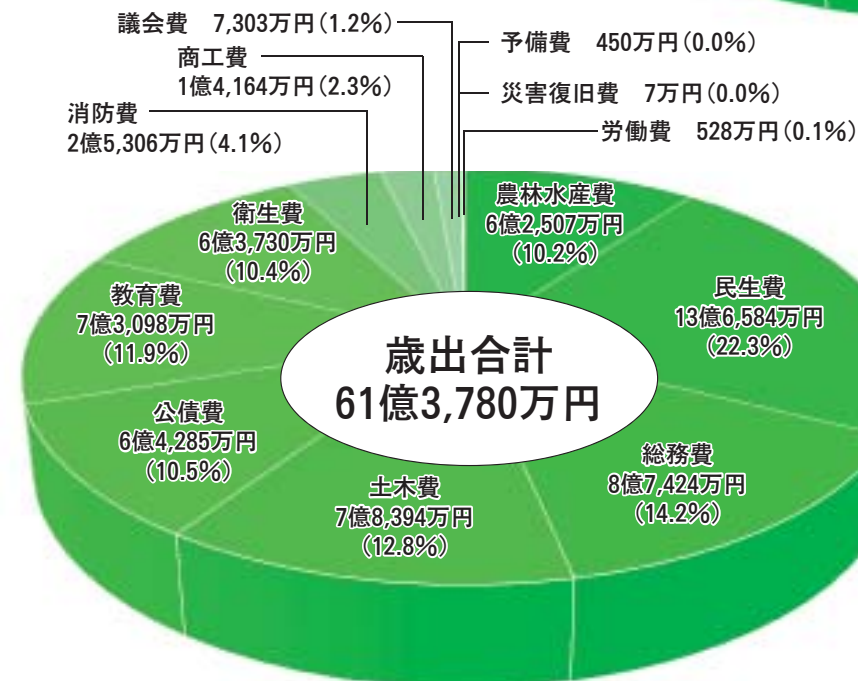
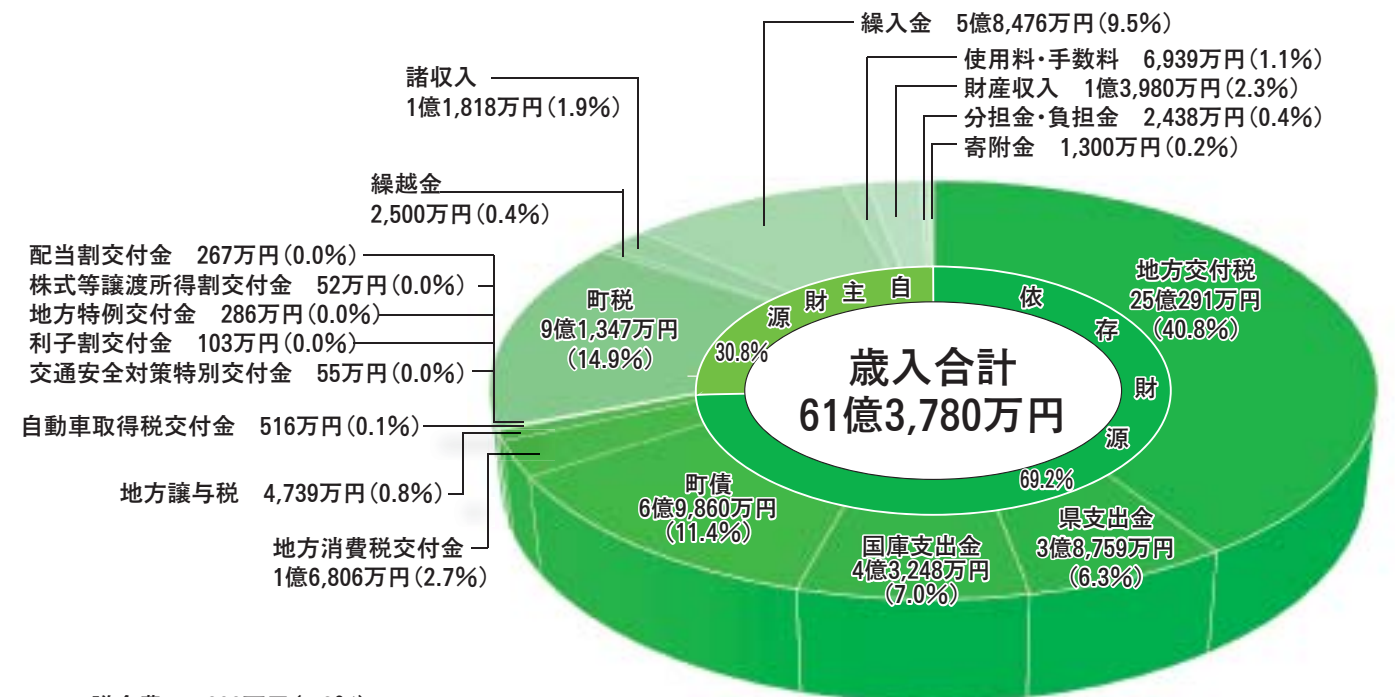
## 新時代へ向かっての町づくりを実行

### 一般会計おもな使いみち

- 農**：林道開設事業 3,700万円
- 商**：商工振興活動事業補助金 800万円
- 商**：ツール・ドはなわ運営事業 200万円
- 土**：町道北野松岡線設計業務 3,250万円
- 土**：さくらタウン末広土地購入助成金 1,900万円
- 土**：さくらタウン末広住宅新築助成金 2,000万円
- 消**：消防施設整備事業 6,738万円
- 教**：放課後児童健全育成事業 1,478万円
- 教**：埴中体育館天井耐震化工事 7,100万円
- 教**：那倉地区体育館撤去工事 550万円
- 総**：タクシー補助事業実証運行補助金 120万円
- 総**：防災ヘリポート整備 1,200万円
- 総**：市町村生活バス運行補助金 3,367万円
- 総**：地方税共通納税システム導入 140万円
- 民**：プレミアム付商品券事業 975万円
- 民**：乳幼児子育て用品購入補助事業 360万円
- 民**：社会福祉事業補助金 2,819万円
- 民**：特定健診事業委託料 1,723万円
- 農**：有害鳥獣被害防止対策 1,171万円
- 農**：地方創生推進交付金事業 4,988万円
- 農**：地籍調査事業 4,074万円
- 商**：湯遊ランドはなわ施設管理費 5,904万円
- 総**：ふるさと納税募集広告料 2,000万円
- 土**：町道川上東河内線工事 1億100万円
- 教**：B & G 海洋センター改修工事 6,300万円
- 民**：高齢者向けシェアハウス調査委託 300万円
- 農**：ふくしま森林再生事業 5,250万円

※総 = 総務費、民 = 民生費、衛 = 衛生費、農 = 農林水産費、商 = 商工費、土 = 土木費、消 = 消防費、教 = 教育費

宮田町長3度目の当初予算編成は、産業・地域振興、インフラ整備や健康福祉関連の新規事業を含む一般会計予算総額61億3,780万円で、各特別会計（上水道事業を含む）と合計して89億9,451万円となりました。平成31年3月定例会では、予算決算常任委員会に予算審議を付託し、3月13日から2日間の質疑討論の結果、新年度全予算を原案どおり可決すべきものとなりました。



<特別会計決算>	予算額	前年度比
国民健康保険	10億4,588万円	▲2,537万円
後期高齢者医療	1億701万円	186万円
介護保険	10億3,657万円	7,089万円
農業集落排水処理事業	1億3,098万円	▲479万円
公共下水道事業	1億8,740万円	256万円
上水道事業		
収益的収入	2億6,850万円	132万円
収益的支出	2億6,730万円	1,298万円
資本的収入	0万円	▲1億8,653万円
資本的支出	8,158万円	▲2億20万円



# 平成31年度 予算質疑

3月13日から14日にかけて開催された、予算決算常任委員会での質疑をピックアップしました。

## 一般会計



## まちなびくん・くわいし

### ふるさと納税PR

### フリーペーパーやインターネット広告を活用

**質** ふるさとづくり寄り寄付金謝礼品事業委託料はどういう内容か。

**答** 広告料の内訳はフリーペーパーによる広告掲載や、インターネット広告を活用する予定。昨年度町ホームページのふるさと納税アクセス件数が、前年度比80倍となったためネット広告を中心に行う。



埴町のふるさと納税カタログ



## 子育て・教育

### 乳幼児子育て用品購入補助

### 月額25000円は棚倉町同等の補助

**質** 幼児子育て用品購入補助事業費の近隣市町村との比較は。

**答** 2歳未満の子どものオムツ関連用品と、授乳関連用品の購入に対する補助である。郡内実施は棚倉町

25000円、鮫川村50000円となっている。今回初めて導入する事業であり、子育てポイントとの併用も考えられるため、棚倉町同等の金額とした。



### 児童用タブレット導入

### 町内小学校に合計50台導入

**質** 児童用タブレット導入の詳細は。

**答** 埴小学校に児童用25台、児童と教員兼用5台。笹原小学校に児童用19台、児童教員兼用1台の合計50台を導入する。

**質** 高学年児童からレクチャーする場を検討してみているか。

**答** 子ども同士で教え合うことも検討している。

### 防災ヘリポート整備

### 埴小周辺の河川敷に計画

**質** 防災ヘリポートの整備はどのような計画か。

**答** 埴小学校近くの久慈川河川敷をヘリポート用に一部舗装整備する。ドクターヘリの型式が変更となり、現状の草地への着陸は不安定になるため。



久慈川河川敷のヘリポート整備予定地

**質** 久慈川増水時への対応は。

**答** 予定地は河川形状からさほど影響はないが、浸食されないよう設計する。

### タクシー補助事業実証運行補助金

**質** タクシー補助事業実証運行補助金の内容

**答** 埴町内全域を対象とし、65歳以上の方1300人程度を想定し予算化した。実施方法は町から発行するチケットを使用し、運賃800円以上を超えた分補助する。

**質** 対象者をどのように設定したのか。

**答** 65歳以上の方や、障害のある方、運転免許返納者も対象とする。

### B&Gプール改修工事

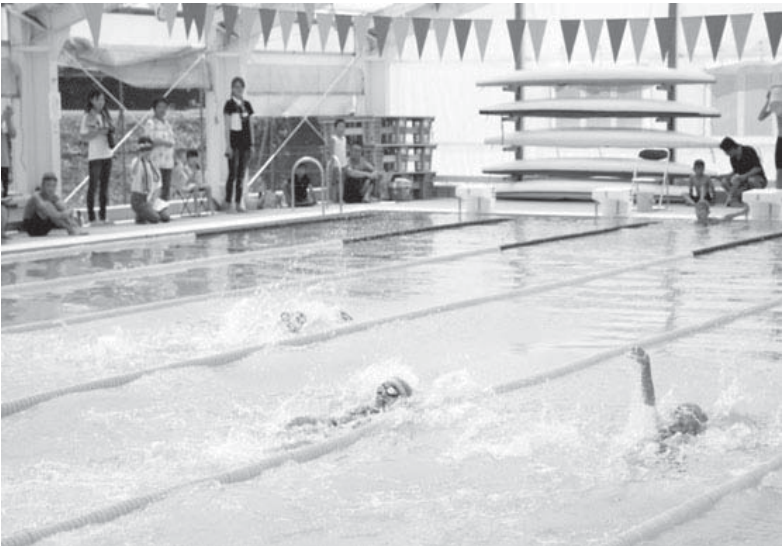
### 水温アップのため工事実施

**質** B&Gプールの改修工事の経緯や内容は。

**答** 利用者より水温が低いとの声があり、鉄骨屋根で覆う計画をしたが、費用の面から断念した。現状ではボイラー設置で対応する。

**質** 工事期間はどのくらいか。

**答** 平成31年9月ごろ工事開始し、約半年後に完成見込み。これにより来年度からプール利用期間が約1カ月延長できる。



B&G水泳大会のようす

### 商工振興活動事業補助金

### 商店街活用でイベント創出をしたい

**質** 商工振興活動事業補助金は、商工会への指導や新しい事業創出などを考えた前向きな予算計上なのか。

**答** 商工会青年部との協議を行いながら、商店街を活用したイベントに取り組めるよう、町としても指導していきたい。

### 湯遊ランドはなわ指定管理委託料

### 施設管理委託がメインで2500万円計上

**質** 湯遊ランドはなわ指定管理委託料の算出根拠は。

**答** 今回2500万円計上しているが、施設管理委託がメインで、施設に係る電気料や燃料費が昨年度4200万円であり、その60%分として算出した。

**質** 町の財政支援の考

**答** 補助金名目ではなく、最低限の施設管理をしてもらう管理料で、総務省通知の考え方に沿った公的支援である。

### 地籍調査事業

### 県内初の事業を活用して行う

**質** 新年度の国土調査事業の詳細は。

**答** 川上(繕々梅ヶ久保)、湯岐(県道高萩埴線沿い)、片貝(国道349号線沿い)の3地区を計画。主な財源は過疎債や社会資本

円滑化地籍事業は埴町は県内初の先進事例となる。今後の地籍調査は面的にも行うが、特に未改良路線や整備が必要な道路周辺を進める方向に転換する。



## 福祉・医療

### 高齢者向けシェアハウス調査委託料

### 高度な専門性が必要であり調査費を予算計上

**質** 高齢者向けシェアハウス調査委託料の内容は。

**答** 現在の高齢者対策地域支援関係の形態が変化してきており、住み慣れた地域でのコミュニティ形成という観点から、空き家活用を含めてシェアハウスを検討している。

**質** 具体的な内容は。

**答** 高齢者が集い通え、冬期間居住できる場所を他市町村の事例から、多目的な住宅を考えているが、運営形態や高度な専門性が必要となるため調査費を計上した。

### ユースプレイス自立支援事業

### 1人あたり10万円を町が負担

**質** ユースプレイス自立支援事業の詳細は。

**答** 事業目的は、ひきこもり、ニートなど社会生活を円滑に営む上で困難な若者に対して、居場所を提供する事業。各種プログラム

に参加し、社会性を身に付けさせ就労意欲を高めて自立することを目的とする。埴町在住の利用者が参加するための費用として1人あたり10万円の負担金となる。



特別会計

国民健康保険

脳ドック助成で早期発見・早期治療

【質】 脳ドック助成事業の抑制を目指す。の抑制を目指す。
【答】 国保加入者で51歳以上の詳細について。
【質】 国保の脳ドック受診要項に基づき実施する。健康な生活を目標とし、早期発見早期治療をすること、医療費



介護保険

ニーズ調査により介護計画策定

【質】 日常生活圏域ニーズ調査業務委託料とは。
【答】 次回介護保険事業計画策定のため、日常生活圏域における町民や事業者のニーズ調査を行い、身体的、環境的な項目により必要なサービスを分析する。

【質】 災害等の発生時に活用できないのか。
【答】 町は要支援者の名簿を本人や家族の同意を得て作成をしており、活用可能である。

農業集落排水処理事業

加入促進を委員と共に行う

農業集落排水地区別接続率（平成29年度末）

Table with 5 columns: 地区 (川上, 台宿, 北野, 伊香), 加入人口, 定住人口, 接続率.

【質】 川上地区農業集落排水加入促進委員会の活動状況や加入実績は。
【答】 現在50%の加入率で促進がまだ必要である。合併浄化槽との兼ね合いもあるが他地区では加入率90%台で、70%までが委員会の到達目標であり、加入促進を委員と共に行いたい。

公共下水道事業

早期納入者への奨励補助実施

【質】 下水道事業早期加入者奨励補助金とは何か。
【答】 受益者が下水道エリアで新たに加入し、一括納入した場合の補助である。1年以内に入金を納入した方や、早期納入した方への奨励補助となっている。



上水道事業

値上げは内容を町民に説明した後に

【質】 上下水道委員会から値上げの答申を受け、その対応は。
【答】 基本的には答申に沿って値上げとなるが、町民の理解や議会からの意見を参考に、その後の実施となる。実行しないのではなく、町として理解をいただくべく値上げを検討している段階。



【質】 大型発電機借上げ料と無線電波利用料とは何か。
【答】 道の駅近くのポンプ場で大型発電機を災害時に使用する。無線機は浄化センター施設で使用する。

公共下水道事業

災害等の緊急時に使用

【質】 大型発電機借上げ料と無線電波利用料とは何か。
【答】 道の駅近くのポンプ場で大型発電機を災害時に使用する。無線機は浄化センター施設で使用する。

待ったなし経営健全化

(株)埴町振興公社が湯遊ランドはなわ指定管理へ

平成31年度一般会計予算

当初予算は、全て予算決算常任委員会で質疑を行ったため、本会議では討論及び採決となる(質疑詳細は4から6ページをご覧ください)。

3月の会例定あ



吉田 克則 議員
調和と均衡がとれた予算を補助費等の増加で調和と均衡がとれていない。(株)埴町振興公社への指定管理料は、議会に説明責任を果たした後の予算計上とすべき。

賛成
反対
討論

吉田 広明 議員
新年度も事業継続を。示された予算案は、新規事業や重点事業10件も含まれており、平成31年度も事業を進めて頂きたいため賛成としたい。

採決結果

Table showing the results of the budget vote, including names of council members and their votes (赞成/反対).

○：賛成、●：反対 ※なお議長（大縄武夫）は採決に加わらない



3月 月定例会は、3月6日(水)から15日(金)までの10日間の会期で開催しました。初日、町長から平成31年度行政運営にあたっての施政方針の表明。新年度一般会計をはじめ6会計の当初予算と、平成30年度補正予算、湯遊ランドはなわ指定管理者の指定や埴町立図書館基金条例の制定など、36議案が上程され、いずれも原案どおり可決しました。



新年度も事業継続を。示された予算案は、新規事業や重点事業10件も含まれており、平成31年度も事業を進めて頂きたいため賛成としたい。



# 議案審議

## 埜町立図書館 基金条例制定

故人の遺言により遺贈を受けた1000万円を原資として、図書館整備のための基金を創設するもの。  
(全員賛成で可決)

## 湯遊ランドはなわ 設置条例の一部改正

消費税率10%への引き上げが、今年10月に施行されることによる条例の改正。  
本条例では宿泊料金等を定めて徴収している消費税をどう納付しているのか。  
A 決算終了後に(株)埜町振興公社が行っている。  
(全員賛成で可決)

Q 指定管理者制度：指定した団体に公の施設の管理を行わせることができる制度  
A 町長の選任について  
Q 町長の選任について  
A 町長の選任について

Q 指定管理者制度：指定した団体に公の施設の管理を行わせることができる制度

## 人事案件

副町長

佐藤 要一氏(常世北野)  
全会一致で同意



任期は平成31年4月1日から4年間

監査委員

金澤 忠良氏(植田)  
全会一致で同意



任期は平成31年3月26日から4年間

固定資産評価審査委員会委員  
生方 光明氏(常世北野)  
全会一致で同意



任期は平成31年3月18日から3年間

## 議案の審議結果

議案第1号	埜町立図書館基金条例の制定	故人の遺贈金を図書館整備のための基金を創設し管理する	原案可決
議案第2号	埜町農道及び林道管理条例の制定	農道及び林道の工事及び占用等の明確化と維持管理規定の明記	
議案第3号	職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正	職員の超過勤務時間を、条例以外に規則で定められるようにする	
議案第4号	埜町福祉基金条例の一部改正	基金取り崩し制限を廃止し、高齢者福祉の増進目的事業に充当する	
議案第5号	埜町立あぶくま高原美術館条例の一部改正	美術館観覧料を無料化する	
議案第6号	埜町ひとり親家庭医療費助成に関する条例の一部改正	上位法改正に伴う町条例の改正	
議案第7号	災害弔慰金支給に関する条例の一部改正	上位法改正に伴う町条例の改正	
議案第8号	湯遊ランドはなわ設置条例の一部改正	消費税増税に備えた条例の改正	
議案第9号	埜町農業集落排水処理事業排水処理条例の一部改正	消費税増税に備えた条例の改正	
議案第10号	埜町公共物管理条例の一部改正	公共物の定義整理や占用等の許可、占用者の義務等を規定	
議案第11号	埜町下水道条例の一部改正	消費税増税に備えた条例の改正	
議案第12号	埜町上水道事業給水条例の一部改正	消費税増税に備えた条例の改正	
議案第13号	埜町復興基金条例を廃止する条例制定	平成30年度中に基金全額を取り崩したための基金条例廃止	
議案第14号	財産区管理会条例を廃止する条例制定	部分林組合や財産区管理会委員任期終了に伴う条例廃止	
議案第15号	埜町辺地総合整備計画の変更	新年度実施事業への起債充当を可能にする計画の変更	
議案第16号	埜町過疎地域自立促進計画の変更	新年度実施事業への起債充当を可能にする計画の変更	
議案第17号	湯遊ランドはなわ指定管理者の指定	公の施設を管理する指定管理者の指定	
議案第18号	埜町多目的交流施設指定管理者の指定	公の施設を管理する指定管理者の指定	
議案第19号	埜町地域資源活用総合交流促進施設指定管理者の指定	公の施設を管理する指定管理者の指定	
議案第20号	地域集会所施設指定管理者の指定	公の施設を管理する指定管理者の指定	
議案第21号	町道の路線認定	新設町道及び既存の農道を町道として認定	
議案第22号	町道の路線変更	さくらタウン末広へ既存町道を延長	
議案第23号	平成30年度埜町一般会計補正予算(第5号)	年度末事業確定による減額補正(▲1億2,643万円)	
議案第24号	平成30年度埜町国民健康保険特別会計補正予算(第4号)	年度末事業確定による減額補正(▲5,117万円)	
議案第25号	平成30年度埜町笹原財産区特別会計補正予算(第1号)	年度末事業確定による減額補正(▲6万円)	
議案第26号	平成30年度埜町農業集落排水処理事業特別会計補正予算(第4号)	年度末事業確定による減額補正(▲14万円)	
議案第27号	平成30年度埜町公共下水道事業特別会計補正予算(第2号)	年度末事業確定による減額補正(▲903万円)	
議案第28号	平成30年度埜町介護保険特別会計補正予算(第3号)	年度末事業確定による減額補正(▲664万円)	
議案第29号	平成30年度埜町後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	年度末事業確定による減額補正(▲23万円)	
議案第30号	平成31年度埜町一般会計予算		
議案第31号	平成31年度埜町国民健康保険特別会計予算		
議案第32号	平成31年度埜町農業集落排水処理事業特別会計予算	3月13日(水)及び14日(木)予算決算常任委員会審議により原案を可決すべきものとした ※審議内容は4~6ページに掲載	
議案第33号	平成31年度埜町公共下水道事業特別会計予算		
議案第34号	平成31年度埜町介護保険特別会計予算		
議案第35号	平成31年度埜町後期高齢者医療特別会計予算		
議案第36号	平成31年度埜町上水道事業会計予算		
議案第37号	町道の路線変更	既存町道の起点変更	
同意第1号	副町長の選任について	副町長の選任(新任)	
同意第2号	監査委員の選任について	監査委員の選任(新任)	
同意第3号	固定資産評価審査委員会委員の選任について	固定資産評価審査委員会委員の選任(再任)	

## 湯遊ランドはなわ 指定管理者の指定

平成26年から5年間の指定管理が終了する事に伴い、新たな指定管理者の募集及び選考を行った結果、(株)埜町振興公社を指定管理者とするもの。指定管理期間は平成31年4月1日から平成36年3月31日。

Q 指定管理者公募手続きの経過は。

A 町のホームページ等で公告を行ったところ、募集期間内に(株)埜町振興公社からのみ申請があり選考を行った。本議案は地方自治法に基づく議案承認である。

Q 経営面での審査は行ったのか。

A 国税、県税及び町税を滞納していない点や、会社更生法及び民事再生法に基づく手続きを行っていないか審査した。  
(全員賛成で可決)

Q 湯遊ランドはなわの経営が改善されないのは、社長などの職務怠慢で人災だ。町民の健康増進や観光目的の施設ではあるが、議会への経過説明不足や、経営健全化計画の提出前であり、血税投入は避けるべき。

## 平成30年度一般会計補正予算

平成30年度末になり、各種事業額確定に伴う予算減額と、湯遊ランドはなわ施設管理費の増額の結果、全体で1億2643万円減額補正となった。

Q 経営健全化計画を湯遊ランドはなわが策定し提出したのか。

A 具体的な指導をしつつ、早急に計画策定させる。

Q 湯遊ランドはなわ施設管理費の増額は、赤字補てんの帳尻合わせでは。

A 寄付金をいいただき、環境改善分として緊急に支出できることになった。また震災による減収分について

Q 湯遊ランドはなわ周辺に設置予定の天体望遠鏡の詳細は。

A 白河市在住の個人より寄付の申し出があった。移設費用は約200万円寄付者が土日ボランティアで観測指導を行ってもらえる予定。



(反対討論)  
鈴木安次議員

## 減収は人災であり血税投入は避けるべき

湯遊ランドはなわの経営が改善されないのは、社長などの職務怠慢で人災だ。町民の健康増進や観光目的の施設ではあるが、議会への経過説明不足や、経営健全化計画の提出前であり、血税投入は避けるべき。

## 採決結果

発議第23号 平成30年度埜町一般会計補正予算(第5号)	七宮広樹	下重義人	吉田広明	青砥與藏	高縁光	吉田克則	鈴木茂	鈴木安次	小峰由久	割貝寿一	小林達信	藤田一男	鈴木孝則	大縄武夫
原案可決(賛成9:反対4)	○	○	○	○	●	●	○	●	●	○	○	○	○	○

○：賛成、●：反対 ※なお議長(大縄武夫)は採決に加わらない

## 緊急質問

3月定例会最終日3月15日(金)の会議冒頭、小林議員より緊急質問の動議が出され、全会一致で質問を許可しました。

## はなわこども園 建設工事について

Q こども園建設工事の下請け業者に、町内の業者は携わっているのか。過去埜町中学校の新築工事でも町内業者が木工工事を請け負っており、今回のような大きな工事に関わっていないとなると大きな問題である。

A はなわこども園建設は、条件付き一般競争入札により請負業者を決定した。その要項にも「埜町内の業者を優先活用」する努力義務を明示している。個人的には地域活性化として町内業者が下請けとして携わって欲しいが、関係法令に則って施工されているため、下請け業者の強制はできない。

Q 動議：主に本会議や委員会の進行や審議手続きに関し、議員から出される提案のこと。動議を認めるかは、本会議や委員会での議決を経ることが必要。



# 一般質問 町政を問う



議員名	質問事項	ページ
ふじた 藤田 かずお 一男	1 塙工高存続問題 2 交通難民対策	P11
よしだ 吉田 ひろあき 広明	1 食育・幼児保育 2 子育て関連	3 はなわこども園 P12
すずき 鈴木 やすつぐ 安次	1 敬老会開催 2 役場西側駐車場	3 塙工高存続問題 P13
すずき 鈴木 しげる 茂	1 塙工高統合廃止 2 農業振興政策	3 観光力アップ P14
しもじゅう 下重 よしと 義人	1 こども園環境整備 2 水道事業民間委託	3 道路整備事業 P15
なみや 七宮 ひろき 広樹	1 羽黒山環境整備 2 ボランティア教育	3 行政改革関連 P16
よしだ 吉田 かつのり 克則	1 町長の町政姿勢 2 旧常小跡地利用	3 法令遵守体制 P17
あおと 青砥 ようぞう 與藏	1 イノシシ対策 2 町事業 PDCA	3 旧常小跡地利用 4 デマンド交通ほか P18
こうえん 高縁 ひかる 光	1 国保滞納関連 2 塙工高再編問題	3 太陽光パネル対応 4 タクシー利用助成 P19



スマートフォンなどお持ちの方で、専用アプリでQRコードを読み取ると録画映像がご覧いただけます。

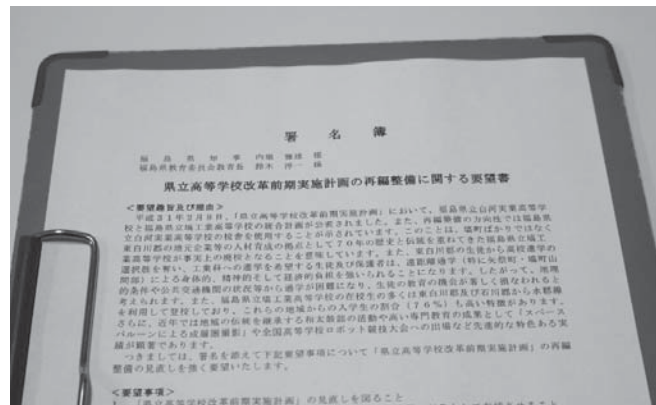
**一般質問とは**  
議員が町長などに対し、行政全般にわたる事務の執行状況や将来の方針等を確認するものです。議会だよりに掲載している一般質問は、質問登壇議員自らが原稿を作成しています。その他割員議員が質問を行っています。

## 塙工高の閉校統廃合問題は

### 存続に向けて要望活動をしていく

- 質問** 県からの説明はあったのか。  
**答弁** 12月21日と1月31日に県教育庁より説明があった。
- 質問** 今後の対応策は。  
**答弁** 現在町民に存続に向けた署名をお願いしている。
- 質問** 郡内が一つになつて要望していかなければならぬと思うが、どのように進めていくのか。  
**答弁** 郡内町村長の間でも同じ思いがあるという事で、町村会はもちろん同窓会や各企業の方も署名活動をしている。
- 質問** 早い時期に要望書を出すべきと思うが、今後の予定は。  
**答弁** 4月上旬には、知事と県教育長に要望したい。
- 質問** 塙工高卒業生の県内への就職はどのくらいか。  
**答弁** 約70%以上が県内に就職している。

**質問** 多くの卒業生が県内に就職している。各企業にとっても深刻な問題だ。議会も町と力を合わせて存続に向けて活動して行く必要がある。議長会でもぜひ話し合っていたきたい。  
**答弁** 塙工高を存続していくように、力を入れて頑張っていく。



塙工高存続関連の署名



ふじた 藤田 かずお 一男 議員

町や企業、そして子供達のために必ず存続しなければならぬ

## 交通難民対策について 難しいのが現状である

**質問** 投票率を上げるためには、交通弱者に対して何らかの対策をすべきと考えるが、何か方法はないのか。  
**答弁** なかなか難しいのが現状である。被災地では移動期日前投票所を実施してみたが、公平性や人件費などの問題もある。近隣の市町村の様子を見ながら検討していきたい。







よしだ ひろあき 議員  
吉田 広明

国が積極的に子育て支援をしなければ国も減じる



おむすび作り風景

## 町内産の夏野菜を冷凍保存し冬場に使って欲しい道の駅の大型冷凍庫があり検討する

**質問** 映画「いただきます」を見て、発酵食品を主に学校給食の改善に取り組んで欲しいと思うので、感想などを伺う。

**答弁** 食を通して地域の実践や、5歳園児が4歳園児にみそ作りを伝授している所、園長先生の食に関する考えが素晴らしかった。「医食同源」で、食事の中心や献立や全てに興味を感じた。町として今後検証して行きたい。また、夏野菜を一時冷凍加工し冬場に使えるように、道の駅の大型冷凍庫で対応が可能か検討する。

**質問** 食生活が乱れ生活習慣病が増加している。学校給食に有機栽培の米や野菜の導入、食料の安全性と安定供給体制を確立する都市の宣言、飲食店に認証制度を創設し地元食料を積極的に使う制度、自然栽培用農地確保を目的に荒廃地整備の作

**答弁** 愛媛県今治市では、食と農のまちづくり条例が制定され、安全な食べ物の生産技術を確立し、学校給食等の充実を図り、食べ物と農業に対する理解を深め、地域農業の振興と健康なまちづくりを推進している。小学校の学校農園では、有機認証を取得して収穫したものを学校給食に取り入れている学校もあり、食育モデル事業では、食を見分け調理や生活習慣にならない技を学んでいる事例などがある。



**質問** 年間40人前後の出生数は、将来の中学校のクラス編成にも影響し、1学年1クラスになる可能性もあり、急激に減少している。子供を増やす政策を打ち出し、様々な取

最近の出生数は年間40人前後で推移している  
来年4月開園にむけて準備を進めている

**質問** 年間40人前後の出生数では、将来の中学校のクラス編成にも影響し、1学年1クラスになる可能性もあり、急激に減少している。子供を増やす政策を打ち出し、様々な取

## 紙オムツや粉ミルクの補助事業の実施はいつから一人当たり月額2,500円の補助を実施する

**質問** 乳児子育て用品・購入補助事業の実施時期と、購入品目や購入先に限定があるのか。  
**答弁** 平成31年度の新規事業として、予算360万を計上した。2歳未満の乳幼児を対象に、1人当たり月額2,500円を補助する。紙オムツ等関連用品、粉ミルク等授乳関連用品で、購入先は町内の商店等の申し込みにより町が指定し、条件が整い次第早い段階で実施したい。

## 敬老会廃止にあたって行政区長会との協議は

## 平成29年の行政区長会で説明した

**質問** 行政区長との協議は。

**答弁** 平成29年度最初の行政区長会で説明した。

**質問** アンケートの実施時期は。

**答弁** アンケートではなく、事前調査をした。

**質問** 敬老会を実施できない行政区の扱い

**答弁** 担当課と相談して決める。

**質問** 金婚夫婦のお祝

**答弁** 出身行政区敬老会の時ではどうか。

**質問** 敬老会をやらな

**答弁** そのような判断は想定外であった。

**質問** 埴町を四分部に分けて敬老会を実施できないか。

**答弁** 理想的だが行政区主体でお願いしたい。

## 役場西側駐車場はどのように検討

## 町長は係わっていない。事務方で検討

**質問** 役場西側駐車場はどのような検討をしたのか。

**答弁** 駐車場が狭いので事務方で検討した。

**質問** 保育園の跡地が空くのでは。

**答弁** 私は係わっていない。

**質問** 保育園の跡地が最適では。

**答弁** 借地なので当初から外した。

**質問** 借地を更地にして持ち主に返すことに変更はないのか。

**答弁** 契約が残っているもので、これから検討する。



整備された役場西側駐車場



すずき やすつぐ 議員  
鈴木 安次

埴町が消滅する前に

## 埴工高の再編計画をいつ知ったのか

## 12月21日の基本計画の中で説明された

**質問** 県立高校の再編計画を、町長はいつ知ったのか。

**答弁** 12月21日の基本計画の中で説明された。

**質問** その後の町の動きは。

**答弁** 2月14日に活性化協議会を開催した。

**質問** 署名活動以外の働きかけは。

**答弁** 町村会の首長名で要望活動する。

**質問** 活性化協議会での協議内容は。

**答弁** 各企業に働きかけをして、反対運動を展開する。

**質問** 署名活動は遅きに失したのではないかと。

**答弁** 2月8日の発表を受けて署名活動を行うことになった。

**質問** 存続活動と並行して、統合後林業者の育成機関を構築する考えはないか。

**答弁** 現時点では考えていない。

**質問** 外国人技能実習生のスキルアップや、日本語学校を国や県等に働きかけは。

**答弁** 全く頭に浮かんでこない。





鈴木 茂 議員

先人が私財を投げうって造った学校を無くしてはならない

## 母校消滅の危機を回避できるのか 諦めていない。 皆様の力沿いをお願いしたい

**質問** 町長は活性化推進協議会の会長として県に足を運んだのか。

**答弁** 行ってはいない。

**質問** 県の話はどのような内容か。

**答弁** 県教育長より統合の話があり、町は容認できることではなく、統合の疑問点に対し質問書を送った。

**質問** 質問書の内容は。

**答弁** 生徒や児童はさほど減少していない。統合することによって進路先を狭めないか等である。

**質問** 存続に向け対策は行ってきたか。

**答弁** 学校の紹介を行ってきた。

**質問** 茨城県の太子清流高校に対して、太子町は給食を提供するなど様々な支援をして統合や廃止の対策をとっている。塙工高に給食の提供はしないのか。

**答弁** 下調べをしたが問題があった。

**質問** 存続に向け、町は緊急対策を取らなければならぬ。署名は郡内の工場にも広げるのか。塙工高存続をあきらめるのか。

**答弁** 決してあきらめない。皆様の力沿いをお願いしたい。



塙工高の記念碑

## 中山間地農業の振興をどう図る 地域に合った作物を考えたい

**質問** 町政の中で、農業をどのように認識しているのか。

**答弁** 農業は基幹産業であり、水田は水源かんようとして大きな役割を持つものである。

**質問** JAなど関係機関と連携し振興を図りたい。

**答弁** アジサイは有望であり、町の振興作物委託事業を活用して取り組みたい。

**質問** 町政の中で、農業をどのように認識しているのか。

**答弁** 花木や有機農産物の生産など、地域に合った作物に取り組みたい。

**質問** アジサイの導入を考えてはどうか。

**答弁** アジサイは有望であり、町の振興作物委託事業を活用して取り組みたい。

## 町観光力アップについて伺う

### しっかりと取り組んで行きたい

**質問** 交流人口拡大や、民泊・民宿開業のための講習会を行ってはどうか。

**答弁** 関係法令などの講習会を検討したい。

**質問** 農泊の全国組織が発足するが対応は。

**答弁** 情報共有などのため、参加する方向である。

**質問** 観光地化に力を入れていく団体等に支援すべきでは。

**答弁** 塙町地域振興事業交付金で対応したい。

## こども園での午睡用ベッドの取り組みは

### 今のところ計画はない

**質問** 来年4月に開園される、はなわこども園での午睡用ベッドの取り組みは。

**答弁** 午睡を実施するのは保育部の2歳児まで。保育士に確認したところ布団の方が良いとの要望もあり、今のところ導入する計画はない。

**質問** 片付け時にほこりが立たず、アレルギーの原因となるダニの繁殖予防になり、感染症拡大防止につながると思うが。

**質問** こども園では、環境整備のため加湿器や空気清浄器の設置は考えているのか。

**答弁** 衛生管理に配慮し、現状のスタイルで実施する。

**答弁** 加湿器は、現在塙幼稚園と塙保育園で使用している機器を設置する。空気清浄器は現在検討中。

**質問** 冬期間の水温管理はどのように考えているのか。

**答弁** 保育部は、給湯室、調理室、沐浴室、幼児用バス、シャワー

パン、屋外水飲み場のシャワー水栓の2基。幼児部は屋外水飲み場のシャワー水栓4基を計画している。



午睡用ベッド：お昼寝用マット

## 改正水道法を導入しない訳は

### 小規模な事業団体では難しい

**質問** 水道事業の広域化や、民間への運営委託を進める改正水道法の導入は。

**答弁** 共同委託が可能な業務を検討し、改善や効率化に取り組むとしているが、塙町のよう小規模な事業体では、運営権を民間企業へ任せるとは難しいと判断している。

**質問** 今後水道料金の改定は避けられないと思われるが、どのように取り組むのか。

**答弁** 塙町上水道事業経営戦略を策定し、皆

**質問** ひと山伐採しないと、日陰解消につながらない場合の対応は。

**答弁** 沿道整備事業で路肩から最大20m。残りは森林整備事業の森林環境交付金で間伐を行う。

**質問** 日陰解消事業の実績は。

**答弁** これまでの10年間で合計1261万円。年平均2か所程度実施してきた。

**質問** 道路の安全性にもつながる事業であり、押し進めてもらいたいと思うが。

**答弁** 日陰解消だけでなく、見通しが確保できない箇所や倒木によって被害が出る恐れのある箇所にも対応し、環境整備に努める。

**質問** 旧道となる道路管理の対策は。

**答弁** バイパス化などの道路整備によって、管理者が変わり県道から町道になった場合は、町が道路法に則り適切に管理する。

## 日陰解消につながらない時の対応は 沿道整備事業と森林整備事業で

**質問** 道路の安全性にもつながる事業であり、押し進めてもらいたいと思うが。

しもじゅう よしと 下重 義人 議員

人は考える葦である





ななみや ひろき 七宮 広樹 議員

出会いの数だけ磨かれる。

## 歴史的価値の高い羽黒山城の整備は しっかり取り組んで行く

**【質問】** 昨年の町文化講演会で金谷俊一郎先生より、羽黒山城が歴史的に価値の高い史跡であり、整備すれば交流人口増加につながるとお墨付きを受けたが、今後の考えは。

**【答弁】** 町民が親しめる美しい里山整備の実現に向けて、しっかりと取り組んで行きたい。

**【質問】** 観光資源の詰まった羽黒山は、健康づくりの好条件にも恵まれているが、今後の活用は。

**【答弁】** 歴史のある山城を中心に、トレッキングコースになるよう努力を重ねていく。



観光資源の羽黒山

## 東京五輪・パラリンピックを活用した教育と学習は 時期を見て有効に活用していく

**【質問】** 東京2020オリンピック・パラリンピックを積極的に活用した、ボランティア教育の考えは。

**【答弁】** 時期を見て、良いタイミングで有効活用していく。

**【質問】** 体験学習の一環として子供達を引率し、生徒自身が雰囲気や歓声の響き、アスリートとの躍動感、各国の声援などを感じ取る教育は。

**【答弁】** 各小中学校と連携を図りながら、今後検討していく。

## 時代を見据えた改革を 幸せ実感の町を目指す

**【質問】** この先の時代を見据え、行政区の改革や再編についても新区長にアンケートや聞き取り、また次世代を担う若者の意見を聞く考えは。

**【答弁】** 行政運営の中で大変重要な位置を占めるので、実現に向けて検討していく。

**【質問】** 近年の災害の影響で防災士が注目されているが、担当課長や消防団幹部にも防災士の資格取得の取り組みの考えは。

**【答弁】** 資格の内容を検討し、必要であれば組み入れていきたい。

**【質問】** 埴町商工会では「外国人技能実習生を受け入れ」業務が進められているが、町は商工会と連携を図り、ベトナムの都市と姉妹都市や友好都市の提携を結び、町発展につながる考えはあるのか。

**【答弁】** 町や商工会、ベトナムの都市と一本の線で見れば、展開が見える。進めてみたい。

◎防災士：防災に対する意識と一定の知識・技能を持っていることを認証する民間の資格。

## 宮田町長の町政姿勢は

### ガラス張りの運営推進

**【質問】** 町政姿勢はガラス張りの町政運営が望ましいと思うが、町長の考えは。

**【答弁】** ガラス張りで進まなければならぬ。町づくりを基本的に事業を進めたい。

**【質問】** 町長は平成31年仕事始め式において、株式会社埴町を守って下さいと職員に対し訓示したが。

**【答弁】** 町を会社にする話ではない。一丸となつて守っていく例えで言った。

**【質問】** 多額の補助金及び指定管理委託料は、税金の二重交付にならないのか。法律上問題はないのか。

**【答弁】** 顧問弁護士等には今回相談していない。法令等に照らし合わせた結果、問題が無いと認識している。

**【質問】** 町長公用車の購入は「広報はなわ」で知らせる必要があると思うが、何故お知らせしないのか。

**【答弁】** 今までの公用車購入について、知らせていなかった。今後購入のものは対応したい。

**【質問】** 後任の副町長選任について、どのような考えを。

**【答弁】** 町にとって最善の人を選びたい。

**【質問】** 宮田町長が掲げた選挙公約履行は。

**【答弁】** 喫緊の優先する事業の準備を進めてきた。高齢者向けシェアハウスの整備を考えている。学校給食無料化、平成30年度給食費30%の補助実現。地域の自立と活性化は、地域振興交付金の創設を計画し、町民の福祉を念頭に政策に取り組む。

## 旧常豊小学校跡地利用は 地域・町の有益な利活用



旧常豊小の校舎と校庭

**【質問】** 旧常豊小学校跡地利用進捗状況は。

**【答弁】** 小学校校舎については、地域や町にとって最も有益な利活用の検討を進めていきたい。

## コンプライアンスの遵守は

### マニユアルを職員に示す

**【質問】** コンプライアンスの捉え方と体制は。

**【答弁】** 法令だけでなく、社会的に求められる倫理規範道徳等全て遵守すべきもの。コンプライアンスマニュアルを職員に示し、不正の防止に努めている。

埴町振興公社への補助金等は説明責任を果たすべき

よしだ かつのり 吉田 克則 議員





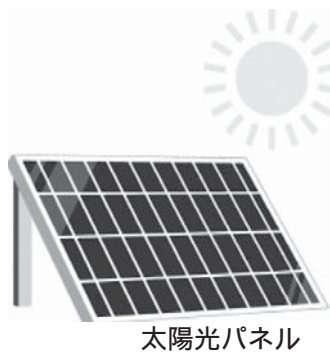
こうえん ひかる 議員 高縁 光

公共交通で老後の  
安心な足の確保

## 不納欠損処分の実態は 慎重かつ適正に実施している

**質問** 国保税の滞納における、短期被保険者証と資格証明書の発行状況は。  
**答弁** 短期被保険者証は、国民健康保険法及び国民健康保険税滞納者対策要綱に基づき発行している。平成31年3月1日現在の発行状況は、一か月の短期被保険者証は40世帯63名。三か月有効期限被保険者証は10世帯13名。六か月有効期限被保険者証は20世帯37名。資格証明書発行は11世帯で、不納欠損を乱発する状況はない。

**質問** 町税の不納欠損処分については、埴町財務規則に基づき実施するもので、町民負担の公平性、行政の信頼に関わるため、慎重かつ適正に実施するよう指示している。  
**答弁** 町税の不納欠損処分については、埴町財務規則に基づき実施するもので、町民負担の公平性、行政の信頼に関わるため、慎重かつ適正に実施するよう指示している。



太陽光パネル

## 太陽光パネルの現状は 町内に32カ所設置してある

**質問** 太陽光パネルの設置箇所数と、パネル枚数はどのようになっているのか。また町外業者の設置箇所はどのくらいなのか。  
**答弁** 10キロ以上事業用発電は平成30年度固定資産税課税分で町内32カ所あるが、その内法人と個人合わせて町外業者保有は16業者で18カ所。  
**質問** 自然災害の環境破壊や汚染を引き起こす問題が今起きているが、その対策は。  
**答弁** 産業廃棄物として業者により処分されている。太陽光発電は買取価格の中に処分費用も入っている。

## タクシー利用助成実証実験の結果は 参加7割の方が事業継続を望んでいる

**質問** 昨年実施のタクシー利用助成実証実験の事業総括は。  
**答弁** 平成31年2月開催の埴町地域公共交通活性化協議会で、ワーキンググループによる実証実験の検証を行った。内容は、65歳以上で免許の自主返納や身体的に運転が難しい方など、今後この助成事業を利用したいと70%の回答を得ている。  
**質問** 今後この事業の継続は考えているのか。  
**答弁** 県補助金を活用した、全町的な実証実験を行っていききたい。

## イノシシの農作物被害対策は 鉄柵事業の効果は大きかった



あおと りょうさく 議員 青砥 与蔵

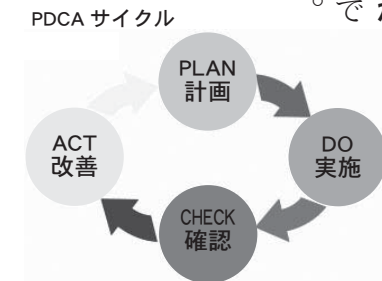
決断とスピード

**質問** イノシシの農作物の被害駆除対策について、今年2月に稲沢地区において、ワイヤーメッシュ柵の設置工事に参加し、トータル1200mの柵設置ができた。鉄柵事業を行った地域における、効果はどうだったか。  
**答弁** 真名畑(杏の里)1km、木野反地区4.9km、那倉地区0.8km、効果は大きい。今後のこのような柵設置事業の予算を増やし継続する。

**質問** 地域住民の協働によって地域づくりをする、小田切徳美農学博士の『農山村は消滅しない』言葉に繋がって行くのでは。  
**答弁** 地域活動につながる事業を町も協力して進める。

## 事業サイクルの考え方は 効率化を進めるべく検討する

**質問** 町支出の補助金の結果報告がなく、継続的な事業が多いと感じるが、町長はPDCAをどのように考えているのか。  
**答弁** 事業の効率化を進めるため、今後も検討する。  
**質問** 近い将来、AI(人工知能)などによる社会の変革が起き、過去の成功モデルが通用しなくなる。今できることは、実績の評価を蓄積する時期と思うが、事業評価を書き残すことが必要ではないか。  
**答弁** 庁舎内で十分検討する。



PDCAサイクルとは業務を継続的に改善する手法

## デマンド交通の実施については 毎年実証実験を行っている

**質問** デマンド交通実証実験のスタートはいつか。  
**答弁** 平成22年地域交通活性化協議会発足、実証実験は25年田代・那倉地区バス運行、26年常豊地域デマンドタクシー、27年田代・那倉地区デマンドタクシーの運行を行いたい。  
**質問** 秋田県横手市で行っている事業を実施できないか。  
**答弁** ワンボックス運行は、埴町でも検討する。交通協議会において提案する。

## 松くい虫による倒木整理は 県とも交渉し対応を進める

**質問** 松くい虫による倒木撤去整理の現状は。  
**答弁** 地すべり地域の保安林は、手を付けられなく問題が大きい。  
**質問** 倒木の整理は、遠野興産伊香工場を活用できないか。  
**答弁** 活用すれば倒木整理が進むと期待している。また県とも伐倒・搬出作業や、地すべり地区・保安地区の倒木についても交渉する。

## 旧常豊小の跡地利用は 総合的に判断するが、実施期限は決めない

**質問** 旧常豊小跡地利用については、期限を決めるべきでは。  
**答弁** 跡地利用は総合的に検討中。現状期限は決められない。



# 議会だより モニターさんの声

前回1月25日発行の議会だより145号に対する議会だよりモニターの声を掲載します。

## 1. 表紙及び裏表紙

- すっきりしていて良い。
- 写真説明文が子供の顔に近かった。
- 写真説明文は写真下へ配置すべきだった。
- 編集後記の文字数が少なかった。

## 2. 12月定例会関連記事 (P 4～5)

- 議員発議3件の条例変更を5ページ下段にまとめたのが分かりやすかった。
- 定数と報酬の議論詳細が記載されて分かりやすかった。用語解説もよかった。

## 3. 一般質問記事 (P 7～16)

- 余白が気になった。
- 質問順ではなく、質問テーマでまとめた配置にできないか。
- どういう趣旨で質問しているか分からない。また質問と答弁が噛み合っていない。
- 読みたい議員が一目でわかりとても良い。



## 私もひとこと

委嘱されたモニターさん2人に議会だよりについてご意見をいただきました。

### 読者目線の誌面づくり



うぶかた えみ 生方恵美(台宿)

議会だよりは、以前に比べて写真も多くなり、とても分かりやすく見やすくなりました。私自身、モニターになる前は議会だよりをパラパラ見るくらいだったので、モニター就任後に読むのが大変でした。何を伝えたいのか、グラフで表した

ものも何なのか分かりにくかったですが、伝えたい部分を大きくし、説明を入れて一目でわかるようにし、裏表紙の写真もできるだけ大きくしてもらいました。若い人にも「議会だより」を読んでもらい、今頃町で起きていることに関心を持ってもらいたいと思います。来年ことも園ができますが、議員同士の話し合いにより、よりよいこども園を設立してください。議会だよりが壁のコミュニケーションシオン誌になって欲しいです。

### 町政に関心が持てるように



さいとう なおこ 齊藤直子(西河内)

今回モニターを引き受けてから議会だよりをよく読むようになりました。以前よりも町政や議会に関心を持つようになり、住みよい町づくりを目指すためには

「私たち町民が町政に関心を持つこと」だと思います。議会の内容が議会だよりを通して町民に伝わるよう、まずは手に取り読んで頂くことが町政に関心を持つことにつながる第一歩だと思います。町の情勢や議員の考えを知るうえで、大変便利なツールである議会だよりが、分かりやすく読みやすい誌面になるよう、微力ながらお手伝いできればと思います。

## ひとことインタビュー

平成31年3月定例会の傍聴者数はのべ21人でした。傍聴された方の中からインタビューを実施し、感想や意見をいただきました。



くさかのぼる 日下昇さん(大町)

## 活発な議論は町の発展につながる

傍聴したきっかけは

町や議会の動きが気になる傍聴に来ました。

傍聴された感想はどうでしたか

傍聴に訪れた方が少なく残念でした。町外から数人の傍聴人が来ていたが良いことです。

議会に対する意見、要望はありますか

傍聴者が多いと、質問側と答弁側で緊張感が増

し活発な議論が展開されるのではないかと。また議論をすることで町の発展につながります。議会の活動に期待しています。

町に対する意見、要望はありますか

高齢になり交通事故防止の観点から、運転免許証を自主返納する方が増えてきている反面、運転が出来ないと何処にも出掛けられない事は不便に感じます。自主返納者への手厚い支援策が必要ではないかと考えます。

## 用語解説

議会関連の用語について説明します。

### ○開会 (かいかい)

議長が本会議初日冒頭に議会のスタートを宣言する。  
例：「ただいまから〇〇年第△回埴町議会定例会（臨時会）を開会します」

### ○議事日程表 (ぎじにっていひょう)

本会議の日ごとに、開議の日時や会議に付する事件及び順序を記載した進行表のこと。





説明する議員



様々な意見が出ました

# 議会報告会 意見交換会



# 聞きました！ さまざまな町民の **声**

	参加された方からの意見	議会からの返答
少子 高齢化 関連	魅力ある町づくりが大切。できる事から進めるべき。	魅力はたくさんある。災害が少なく資源は豊富な埴町を住んでいる人が好きにならなければ。
	Uターンする若者が少ないのでは。	若者定住促進住宅団地など、町も少子化対策には力を入れている。
	子育て環境づくりが大切。各地区公民館には遊具がない。保育園に行かない子供達が遊べる場所が必要。	町の移住や空き家政策が遅れている。他市町村では職員を増やし対策強化をしている。産み育てるための食育を含みきめ細かい子育て環境整備に重点を置くなどしながら、移住者を呼び込む施策が重要だと考える。
公共交通関連	地方版総合戦略にも公共交通について記載がある。有識者で会議を年1回開催するとなっているが議会は検証しているのか。	今後議会として検証を行う。また昨年秋に秋田県横手市を視察し、参考となる取り組みを研修した。今後町から議会に対し提案して行くのではないかと考えている。
その他	議会を夕方開催にすれば若い人が議員になれるのでは。また会社員では議員になれず、議員報酬のみでは生活できない。	兼業議員や、土日祭日を利用した議会開催も検討しなければならない。
	本会議や全員協議会、各常任委員会などを傍聴できるのか。委員会の日程がわかると傍聴できる。	原則傍聴可能だが、一部は長が認めた場合の秘密会がある。議会の動きはフェイスブックやツイッター、ホームページでも情報発信している。今後マスコミにもうまく情報提供していきたい。
	子育て施設の充実、一時預かり所のようなものがあればよいのでは。	建設中のこども園に木育広場を造って欲しいと町側に要望している。
	健康寿命を延ばす観点から、各地区サロンの集まる場所が欲しい。若い人と老人が交流できる場所があれば健康増進につながる。	サロンは各地区で行っている。簡単な食事提供やお母さんが休めるところもいいのでは。
	埴工業高校が2023年に廃校になる報道があり残念。	同じ存続問題があった他校が計画から除外されているので、埴工業高校についても議会としては諦めていない。

<これ以外にも様々な意見がありました>

- ・山仕事の従事者がいない。養成所みたいなものはできないか。
- ・今回の意見交換会は内容が充実していた。もう少し議員個人の建設的な意見を出してほしい。
- ・議員の考えもわかり、意義ある意見交換会だった。
- ・敬老会のあり方について、町の敬老精神を明確にもらい、議会において議論してもらいたい。



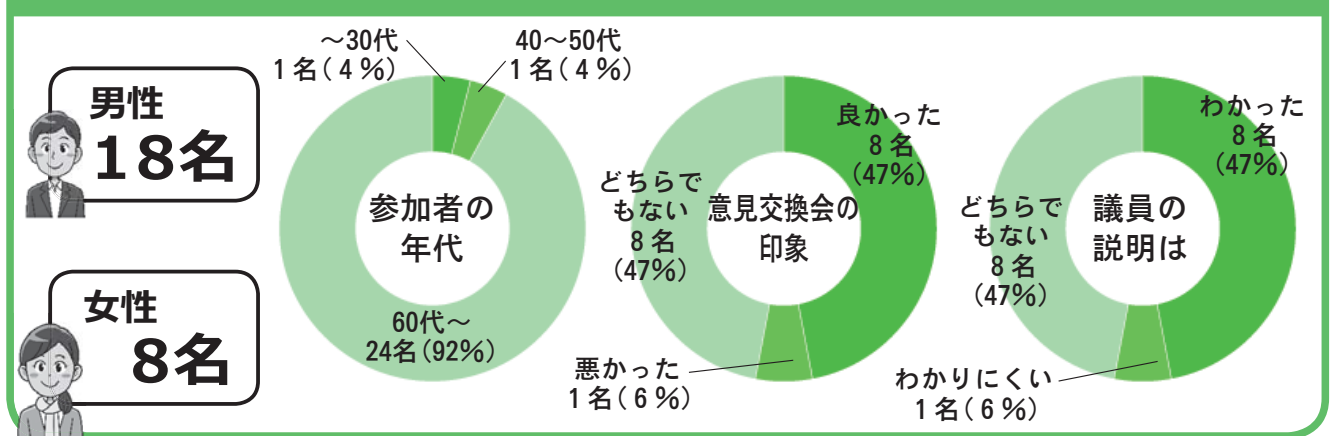
議長あいさつ



大勢の方に参加いただきました

平成30年度議会報告会(意見交換会)を2月11日に埴町防災センター3階会議室にて開催しました。副市長・副議長が進行役となり意見交換会が行われました。今回のテーマは①少子高齢化対策、②公共交通についてで、幅広い視点から意見や要望が出されました。今後この内容をよりよい町づくりのための議会活動に反映させていきます。

## 参加者データ





# 追跡レポート

## あの質問はどうなったのか？

議員の一般質問の中からピックアップし、その動き・現在の状況を調査します。

### タクシー利用助成試験運行の結果は 平成 30 年 12 月定例会

平成 30 年 9 月から 11 月までの 3 か月間に高城地区で行われた、タクシー利用金助成試験運行の結果はどうだったのか。

答弁

### 利用者は 78 名だった

埴町地域公共交通活性化協議会が事業主体として試験運行を実施し利用者は 78 名。実績は 9 月は 83,040 円、10 月は 117,900 円で、11 月分については現在集計中であり、利用者からのアンケートもいただいている。今後検討を重ねバスとの兼ね合いもあるが、全町的な実施が可能かどうか財源を含め検討する。

その後

### 全町的に実証試験を実施

平成 31 年 2 月に埴町地域公共交通活性化協議会のワーキンググループで高城地区の実証試験検証を行った結果、試験参加者の約 7 割の方から今後も利用したいとの要望があったため、県補助金を活用し全町的な実証試験を平成 31 年度に行う。

### 早急な有害駆除対策実施を望む 平成 30 年 6 月定例会

イノシシによる農作物被害は大きな影響であり、猶予がない状況である。一網打尽にするような企画が望まれる。また、年間を通じた駆除が必要だと考える。

答弁

### 人数に限りがあり検討したい

イノシシは平成 29 年度で年間 314 頭捕獲しているが、実施隊の人数に限りがあるため、その力には限度がある。法令等々の問題もあるため、第 2 次的な実施隊の創設ができるかどうかを含めて検討したい。

その後

### 平成 31 年度より 3 事業が実施される

- ワイヤーメッシュ柵事業  
エリアを広く囲むことができ、草刈り作業に支障がでない。定期的な管理は必要だが、長期的に設置が可能。
- 箱罟事業  
年間を通じて設置可能で、箱罟の見回りやエサの補充などの問題をクリアできれば、行政区への貸出を行う。
- 電柵事業  
旧来から実施の事業で、年間を通じて設置可能。

## 委員会レポート

### 総務常任委員会報告

#### 3 件の所管事務調査を実施

- ・日時 平成 31 年 2 月 7 日 (木)
- ・場所 委員会室
- ・出席委員 鈴木安次委員長  
ほか委員全員 (計: 7 名)
- ・調査まとめ

#### (1) 入札執行事務について

北原定住促進住宅新築工事入札以後、町執行による入札の信頼性が揺らいでいるため、入札執行事務について調査を行った。委員から、町民より町の動きが全く分からないので、入札結果は町ホームページで検索しやすい公表の仕方を検討するべきとの意見があった。



現在使用している入札箱

(2) 埴町社会福祉協議会の運営について  
町監査委員から、埴町社会福祉協議会の運営について改善を要する意見書が出されたため、調査を実施した。事業内容は社会福祉を目的とする事業の企画及び実施など福祉分野の多岐にわたるが、民間との競合などによる赤字経営を、これまで積み立ててきた基金を取り崩し対応しており、早急な改革が必要である。

#### (3) 町税等の不納欠損処分について

町税等の滞納発生の現状 (滞納者の生活状況や滞納理由など) や、納税勧奨事務の実態について説明があった。町は滞納解消のため、財産調査や差し押さえを実施しているが、滞納者の所在不明や差し押さえ財産がないなど、費用対効果の観点から不納欠損処分をせざるを得ない現状だった。

### 経済常任委員会報告

#### 工事進捗状況調査及び町営住宅の現状

- ・日時 平成 31 年 2 月 14 日 (木)
- ・場所 現地及び委員会室
- ・出席委員 鈴木 茂委員長  
ほか委員全員 (計: 7 名)
- ・調査まとめ

#### (1) 川上第一配水池更新事業 (川上見明地内)

新しい配水池は 158 トンの貯水量で地域の需要に対応でき、渇水期でも水量が減らないとの事。施設管理では職員の目視確認から遠隔での確認ができるよう改善された。

#### (2) さくらタウン末広造成事業 (埴末広町地内)

造成工事は 1 月末での進捗率 80% で、今年 4 月の販売開始を目指す。質疑の中では、宣伝広告方法や行政区割り、土地購入時の優先順位等が出された。委員からは、

立地条件や景観がよく素晴らしい分譲地であるとの意見だった。

#### (3) 町営住宅入居状況

担当課長より各町営住宅 (7 地区) の入居状況や、空き部屋公募状況、世帯別収入階級状況についての説明があった。現在 2 カ所で政策空き家を実施し、立て直し等の検討を進めている。今後効率の良い町営住宅の維持をしてもらいたい。



現地調査の様子



## 湯遊ランド幹部との懇談会

2月28日(木)午後3時から、経済常任委員会と湯遊ランドはなわ幹部との懇談会を開催しました。内容はオーブンから現在までの各年度の収支や、施設及び雇用の現状、今後の経営戦略について説明があり、出席した委員から提案や助言をする形式で、約2時間の懇談となりました。町の貴重な観光施設でもあり、町民の健康増進のためにも必要な施設であることから、町と協力しながら健全かつ安定的な経営ができるよう、議会としてもその動向を注視していきます。



委員と幹部との懇談会

## 議会活動出欠状況

平成31年1月1日～3月31日

年月日	会議名称	七宮広樹	下重義人	吉田広明	青砥與藏	高縁光	吉田克則	鈴木茂	鈴木安次	小峰由久	割貝寿一	小林達信	藤田一男	鈴木孝則	大縄武夫
31.1.10	広報常任委員会	○	○	○	○	○	○	—	—	—	—	—	—	—	—
31.1.17	広報常任委員会	○	○	○	○	○	○	—	—	—	—	—	—	—	—
31.1.17	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
31.1.17	埴工業高校校長先生による講演会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
31.2.7	総務常任委員会(調査)	—	—	—	○	○	○	—	○	○	—	○	—	—	○
31.2.11	議会報告会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
31.2.14	経済常任委員会(調査)	○	○	○	—	—	—	○	—	—	○	—	○	○	○
31.2.27	議会運営委員会	—	—	—	—	—	○	○	○	—	○	—	○	○	○
31.2.28	経済常任委員会と湯遊ランド幹部懇談会	○	○	○	—	—	—	○	—	—	○	—	○	○	○
31.3.4	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
31.3.4	広報常任委員会	○	○	○	○	○	○	—	—	—	—	—	—	—	—
31.3.6	3月定例会(1日目:議案説明)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
31.3.7	3月定例会(2日目:議案説明、委員会付託)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
31.3.7	総務常任委員会	—	—	—	○	○	○	—	○	○	—	○	—	—	○
31.3.7	経済常任委員会	○	○	○	—	—	—	○	—	—	○	—	○	○	○
31.3.7	広報常任委員会	○	○	○	○	○	○	—	—	—	—	—	—	—	—
31.3.8	3月定例会(3日目:一般質問5名)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
31.3.8	議会運営委員会	—	—	—	—	—	○	○	○	—	○	—	○	○	○
31.3.12	3月定例会(4日目:一般質問5名)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
31.3.12	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
31.3.13	予算決算常任委員会(当初予算審議)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
31.3.14	予算決算常任委員会(当初予算審議)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
31.3.15	議会運営委員会	—	—	—	—	—	○	○	○	—	○	—	○	○	○
31.3.15	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
31.3.15	3月定例会(5日目:議案審議)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
31.3.15	議会運営委員会	—	—	—	—	—	○	○	○	—	○	—	○	○	○

議員は会議に出席する義務があり、正当な理由がなく欠席すると罰せられることがあります。議会では欠席の正当な理由として、配偶者・親族の葬儀(忌引)、病気・けが(傷病)、突発的事故(事故)、その他議長が認める場合です。表ではそれぞれ、忌引、傷病、事故、その他と表記し、それ以外の正当な理由外の欠席の場合は私用と表記しました。 ○出席 —該当外

# 議会の動き

## 自治功労者表彰受賞



表彰を受けた割貝議員(左)と大縄議員(右)

平成31年2月6日(水)第70回全国町村議会議長定期総会において、町村議会議員として通算15年以上在籍で、埴町議会より大縄武夫議員と割貝寿一議員の2名が全国町村議会議長会より自治功労者として表彰を受け、昨日閉会した平成31年3月埴町定例会初日に報告されました。両議員とも平成16年に町議会議員に初当選以降連続4回当選し、現在大縄議員は第19代埴町議会議長、割貝議員は議会運営委員長として議会運営に携わっています。

## 東白川地方町村議会議員研修会



講演する加藤元町長

平成30年12月19日(水)ルネサンス棚倉にて、東白川郡内の町村議員が一同に会した研修会が開催されました。今回は前福島県町村会長の加藤憲郎前新地町長が「まちづくりは人づくり」と題し講演されました。新地町外のご出身で、嫁ぎ先の家業を継いだ後に新地町議会議員に当選。以後平成14年より新地町長を4期16年務めた経歴紹介や、未曾有の大震災と原発事故を経験し、当時の状況や復興の現状を説明いただきました。



皆さんの団体やサークルに広報常任委員が伺います。

団体の名称：花の里川上

活動場所：埴町大字川上地内

会長：石井 均 (TEL：43-3655)

## 自由な意思で参加する地域ボランティア活動

川上4区は美しい景観と豊富な水辺にあります。20年前、その里山の畑はシノヤクズの葉で覆われ荒廃していました。誰かが「より美しい自然を後世に残さなければならない」と叫びかけ、平成20年頃からひまわり、紫陽花、水仙作りから始まり、草刈りをする人が現れ、区民総出での環境改善に取り組むようになりました。また、埴ライオンズクラブから桜苗、区民からは桜、レンギョウ、ユキヤナギ、その他の寄贈もあり、荒れていた畑が花の里へと変わりつつあります。県のサポート事業や町の舗装整備が進み、現在は日本桜の会にも入会し、記念樹も植えられてい

ます。「無理強いしない活動で、限られた労力と自費で成果は少しずつ現れて、当初の思いは今後も継続されていくと思う。」と話しています。ぜひ散策に訪れて下さい。



管理している会員

### 編集後記

3月定例会は、湯遊ランドの運営状況悪化や、福島県教育委員会の方針が出て、埴工高の存続問題が議論になりました。これからは、町と議会及び近隣町村の連携が必要になってきます。署名活動も始まり、町民の皆様の熱意が県知事に伝わればと願うばかりです。そして、新規事業予算10事業の内、高齢者対策として「シェアハウスの調査費」や「乳幼児子育て用品・購入補助事業」も織り込まれました。議員活動も残す所1年となりました。描いた政策の実現や課題に向けて取り組んで行きたいと考えています。

吉田 広明

### あなたも議会を傍聴してみませんか

次回の6月定例会は  
6月13日(木)からの予定です。

場所 役場2階 議場  
(※氏名記入などの簡単な手続きで傍聴できます。)



委員長	吉田 克則
副委員長	下重 義人
委員	高縁 光
委員	青砥 與藏
委員	吉田 広明
委員	七宮 広樹

広報常任委員会